

株式会社ジェイコム東京 武蔵野・三鷹局  
放送番組審議会 議事録

令和3年（2021年度）株式会社ジェイコム東京 武蔵野・三鷹局 放送番組審議会は「新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置」延長に伴い2022年3月8日（火）オンライン会議（ZOOM会議）で開催。

**【放送番組審議会委員】**

石坂 和也	様
小島 祐一	様
金子 彰	様
見城 武秀	様
土方 弘子	様
吉清 雅英	様
和久津 豊	様

事業者側から J:COM チャンネル（11ch）について報告があった。

**【質疑応答・意見交換】 進行：見城会長**

**■「2021年度編成報告」について**

**委員**

『むさしのシティニュース』『ジモト応援！つながる News』などは分かりやすく、コロナ禍で吉祥寺にも人が集まらない中、映像で伝えてくれたことは非常にありがたかった。

近年、Z世代と呼ばれる若い世代は、家にTVを置いていない方が多いと聞くがそのような影響で J:COM では、契約世帯などにどのような変化があったのか教えていただきたい。

**事業者**

対象年齢層向けのメニューの提供やコロナ禍で学生を中心にインターネット加入者が増えたことにより、武蔵野・三鷹局エリアでは純増している。

**委員**

『ジモト応援！つながる News』では幅広いジャンルの話題を取り上げていると感じた。ニュースで取材するトピックスの選定は企画委員会のようなもので選ぶのか、市民からの持ち込みや、市からの意見なのか。また、基準があれば教えていただきたい。『ジモトに乾杯！居酒屋 秀ちゃん』や『ふくあじ』に関しては年齢的に興味を引かれ、面白い番組だと思う。

## 事業者

放送で取り上げる内容は、各局の地域プロデューサーなどが依頼を受けて取材をするものや、過去に取材した方から再度ご連絡をいただく場合などがある。またプレスリリースなどから情報を得る場合もある。選定基準は市民の方々が関心を持っているか、役に立つかという観点を基に多くの方に必要とされる情報かを基準に選定をしている。最近ではワクチン情報に時間を割き、重点的に放送した時期もあり、その都度関心事を踏まえて放送することを心がけている。

## 委員

『ど・ろーかる』アプリで『ジモト応援！つながる News』を視聴している。感動したニュースがたくさんあった。特に印象に残ったのは青年会議所の方が生理の貧困についてのチラシを配っていたというニュースがあり、特に若い男性が女性への理解を深めるという点で良かった。また、このようなことを青年会議所が実施しているということを知ることができてありがたいと感じた。『つながる News』は私たちが知りえない情報をたくさん取り上げ、地域を知る良い機会になるため、ぜひ今後とも充実したものにしていきたい。

## 委員

元高校球児のため、夏の時期には高校野球の試合をよく観ている。自分が現役のときには放送がなかったが、当時あったら良かったのにと思っている。行政中心の物事の考え方をしていたが、『ジモト応援！つながる News』を観てかなりきめ細かく取材で掘り起こしてあり気づきが多かった。広報誌は月1回のみでの発行のため、相乗効果が生まれるようなニュース番組作りを引き続きしていきたい。

## 委員

『ジモト応援！つながる News』では三鷹市や武蔵野市の様々なエリアでの活動などを改めて確認することができた。コロナ禍で学生の加入者が増えているという話があったが、この2年間学生はキャンパスへ行ってもなかなか新しい人との出会いの機会がないという話を聞かため、J:COM をきっかけに横のつながりが広がっていくと感じた。

## 委員

大学1、2年生は入学時からコロナ禍にあったため、大学のキャンパスに足を運ぶ機会が少なくなっていた。その中で学生は住んでいる場所や地域に関心が高まっている傾向がある。J:COM チャンネルはその地域に住んでいる学生が地元について再認識する側面があると思う。

## 委員

市政についてできるだけ多くの方々に知ってもらうために広報番組や広報誌を作っている。しかし市政に関心を持ってもらう以前に地域に関心を持ち、知り、愛着を持ってもらうためには広報番組には出せない柔らかい視点での面白いニュースが増えれば良いと思う。

### **委員**

ネットフリックスなどの動画配信サービスは脅威だと考えているのか、どのような対応を考えているのか。またオンデマンドに関してはどのように考えているのか。

### **事業者**

ネットフリックスとは既存のメニューとセットになったプランを販売しており、業務連携をしている。またオンデマンドに関しても既にサービス運用を開始しており、インターネットだけの加入者がオンデマンドサービスを使える仕組みがある。

### **委員**

放送番組とインターネットとの連携に力を入れていると思うが、J:COM チャンネルとインターネットを組み合わせることで情報発信の魅力を増すためにはどのようなことを行う予定なのか。

### **事業者**

放送と通信の融合に関しては昔から言われているがコミュニティチャンネルをアプリで配信するなどしている。今後も配信には力を入れていくつもりである。

### **委員**

番組で伝えきれなかったこと、あるいは放送しきれなかったものをインターネットで配信したり、アーカイブでいつでも視聴できるようにしたりすることは考えているのか。

### **事業者**

アーカイブも含めて現在検討中である。ネット配信中心の時代に向け、弊社も遅れを取らずにやっていきたい。

以上